



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番  
(公) 043(222)7207番

95.10.19 No. 4279

# 世界で吹きあける失業問題

## 世界で吹きあける失業問題

いま、深刻な『失業問題』が全世界を覆っています。欧米、特にヨーロッパ各国は七〇年代の石油危機以来、高失業率が持続し、今年五月のEC(欧州連合)平均は、十・九%、若年層にいたっては二一・二%に達しています。

昨年、ILO(国際労働機構)、OECD(先進二五カ国、経済協力機構)が、相次いで、雇用・失業問題に関する報告書を提出しました。ILO報告は、現在、全世界の就業人口の約三〇%にあたる八億二千万人が飢餓もしくは失業状態にあると報告し、「先進国の雇用・失業」と題されたOECD報告も同じように、「OECD二五カ国の失業者は、三千五百万人、八・五%に達している」としています。

## 日本はどうなっているか

日本においても、完全失業率がジリジリと高まっています。九四年度の失業率は二・九%で、八六、七年の円高不況時の二・八%をこえ、過去最悪といわれ

ました。しかしそれは今年に入ってからさらに増え続け、四、六、七月は三・二%を記録。中でも一五〜二四歳の若年層は六・一%になっていきます。このままだけは二千年の完全失業率は七・七%にまで悪化するという試算も出ています。五百万人の失業者です。

## 大失業時代の到来とはなにが

こうした、深刻な失業問題の背景にあるものは、この間の世界資本主義経済の長期にわたる深刻な危機、そこにおける産業構造の巨大な変動、特に先進帝国土義諸国における製造業の急速な地盤沈下です。七〇年代以降の欧米諸国の高失業率はここから生まれました。

一方、九一年から始まった日本の不況は、戦後最大・最悪、最長期に及ぶ不況となりました。現在なお、進行中の深刻な不況は一九二九年世界大恐慌の直撃を受けた「昭和の大恐慌」に次ぐ歴史的事態となっています。

大失業時代の到来とは、いままでの帝国主義経済・階級支配のあり方が行き詰まり「労働者を食わせていけなくなった」ということなのです。

## すべてこの犠牲を労働者に

今年の五月、日本経営者団体連合(日経連)という資本家階級の指導部が、「新時代の日本の経営―挑戦すべき方向とその具体策」と題するプロジェクト報告を発表しました。『大失業時代の到来に対応した、日本企業のあり方、労使関係のあり方を提言したものです。その結論は、戦後の労使慣行の根幹をなしてきた、終身雇用制と年功序列型賃金制の解体を通しての、大量首切と低賃金の強制です。そのために、労働者の階級意識と団結の解体、権利破壊を徹底的に押し進めるとい

## 国鉄分割・民営化攻撃

日経連の報告は、国鉄の経営破綻を理由として強行された分割・民営化と全く同じことを―国鉄分割・民営化攻撃とは四〇万人の国鉄労働者を二〇万人にまで削り落とした大首切り攻撃であり、まさに『大失業の時代』を先取りする攻撃でした。―比較にならないほど大規模ななかたちで、一国をあげて強行しようというのが日経連報告なのです。

## 全産業・全社会への

要するに、大失業攻撃とは、全産業・全社会に国鉄分割・民営化型の攻撃が仕掛けられるということなのです。しかし、このような攻撃が本格的に始まろうとしている最中に、戦後日本労働運動の最も戦闘的な精華とも言べき闘いが、国鉄清算事業団闘争という闘争形態で闘いの旗を守りぬいているのです。ここに勝利の道が指し示されています。

―以下、シリーズ号へ

一一・五全国労働者総決起集会  
日時 一一月五日(日) 正午  
場所 日比谷野外音楽堂  
指定列車 十時五九分千葉駅五番線発快速列車最後部